

地域のリソース

隠せず飛び込もう。

(公社)札幌聴覚障害者協会理事
福島太郎

地域のリソースって？

今回の目的は、

「**地域**を知って、**資源**を活用しながら

生きていく**ビジョン**を持つこと。」
(**在学中でも卒業後でも**)

リソースって???
「**資源 (しげん)**」を指す。
人々の生活諸要求や、
問題解決の目的に使われる
各種の施設、制度、期間、
知識や技術などの物的、
人的資源の総称。

いわば、

ある**目的**を達成するために
必要な物 (モノ、事、者)

• 情報保障が必要な場面って???

「何だろう?何て言っているのかな?」

と感じた時。

(家族とのご飯タイム、大学、会社での音声のみの話し合い、外で緊急の放送が流れる等)

1. どうやって手話を覚えたのか?
2. どうやって困ったことを乗り越えたのか?

大学の時の情報保障 / 生活 / 就職

1. どうやって手話を 覚えたのか？

- 家族（母から）、友人、ろう者の先輩
- 地元の手話サークルの行事（中学の時から）
- 本格的に覚え始めたのは、大学1年～
大学内の手話サークルの仲間の出会い

2. どうやって困った事を 乗り越えたのか？

（大学の時の情報保障）

- 入学時、情報保障がなかった・・・。
 礼学大のある人からノートテイク制度を
 教えてもらう。
- 酪農学園大学の手話サークルを通して
 北大手話サークルと北星大学手話サークル
 関わりを持つ。

- ノートテイク制度がある北星大学の手話
 サークルに相談し、合同学習会を開く。
- （要約筆記のノウハウ、学ぶ権利）
- 日本国憲法から、誰でも学ぶ権利はある
 ことを学ぶ。
- 大学の担当教員に母と相談する。
- 担当教員から大学教務課へ提案。
- 翌年、ノートテイク制度が出来る。
 （大学内の手話サークルの仲間のバック
 アップも大きかった。）

他に使えたかもしれない資源は、

- 学生懇談会
- 手話通訳問題研究会
- 手話通訳士協会
- 当事者団体

2. どうやって困った事を乗り越えたのか？ （生活）

ろうあ者相談員（身障手帳、障害基礎年金、
日常生活用具、補装具）

※全国各地の自治体、当事者団体、
情報提供施設に設置されているが、全てで
はない。

- 当事者団体・手話通訳者・要約筆記者（情
報支援者）
- 当事者団体の青年部

2. どうやって困った事を乗り越えたの か？（就職）

- 大学内の就職相談員

• 管轄内の職業安定所（みどりの窓口）

- 当事者団体

- 就職後、待遇面に困った場合、労働組合

他の資源

- 障害者職業センター（47都道府県設置）
- 国立職業リハビリテーションセンター（埼玉県）
- 障害者相談支援事業所
- 就労支援事業所
- インターネットからは、サーナ、DODA、クローバー等再就職サイト

自分の心の姿勢

「本当にこのままで
良いのかな？」と、

常に自分に問い掛けること。